

コンクリートライブラリー152
 混和材を大量に使用したコンクリート構造物の設計施工指針（案）

正 誤 表

（第1版・第1刷対応）

2019/5/8

No.	頁	行・図表番号	訂正の内容	
1	14	解説 図 2.5.3 枠内の説明文	誤	H10B85S5:結合材として, …, せっこう 5%を…
			正	H10B85S5:結合材として, …, シリカフューム 5%を…
2	57	章のタイトル	誤	1章 混和材を高置換したコンクリートの特徴
			正	1章 混和材を 大量に使用 したコンクリートの特徴
3	90	図 1.8.10 凡例	誤	■ C-2 浸せき 1年
			正	■ C-2 浸せき 2 年
4	93	図 1.8.14 タイトル	誤	図 1.8.14 初期の湿潤養生期間が塩化物イオンの拡散係数に与える影響 (IV, VI から作成)
			正	図 1.8.14 初期の湿潤養生期間が コンクリート表面塩化物イオン濃度 に与える影響 (IV, VI から作成)
5	94	図 1.8.15 サブタイトル	誤	a) 配合 A1~A6 (沖縄 40 ヶ月) (I から作成) b) 配合 B1~B5 (沖縄 41 ヶ月) (III から作成) c) 配合 B6~B10 (暴露期間 41 ヶ月) (III から作成) d) 配合 C1~C-5 (暴露期間 20 ヶ月) (IV から作成) e) 配合 D1 (暴露期間 23 ヶ月) (V から作成) f) 配合 E1~E4 (暴露期間 23 ヶ月) (VI から作成)
			正	a) 配合 A-1~A-6 (暴露期間 40 ヶ月) (I から作成) b) 配合 B-1~B-5 (暴露期間 41 ヶ月) (III から作成) c) 配合 B-6~B-10 (暴露期間 41 ヶ月) (III から作成) d) 配合 C-1~C-5 (暴露期間 20 ヶ月) (IV から作成) e) 配合 D-2 (暴露期間 23 ヶ月) (V から作成) f) 配合 E-1~E-4 (暴露期間 23 ヶ月) (VI から作成)
6	111	③項 第 2 式	誤	$C_d = \gamma_{cl} \cdot \left[C_0 \left(1 - \operatorname{erf} \frac{0.1 \cdot c_d}{2\sqrt{D_d \cdot t}} \right) \right] + C_i = 1.3 \cdot \left[13.0 \cdot \left(1 - \operatorname{erf} \frac{0.1 \cdot c_d}{2\sqrt{0.28 \cdot t}} \right) \right] + 0.3$
			正	$C_d = \gamma_{cl} \cdot \left[C_0 \left(1 - \operatorname{erf} \frac{0.1 \cdot c_d}{2\sqrt{D_d \cdot t}} \right) \right] + C_i = 1.3 \cdot \left[2.5 \cdot \left(1 - \operatorname{erf} \frac{0.1 \cdot c_d}{2\sqrt{0.28 \cdot t}} \right) \right] + 0.3$
7	132	表 2.4.12 1 行目	誤	配合 E-1 事例 1
			正	配合 E-2 事例 1
8	134	表 2.4.14 1 行目	誤	配合 E-1 事例 3
			正	配合 E-2 事例 3